

# 6月定例会一般質問

6月定例会では、6月13日・14日の2日間で一般質問を行い、会派を代表して7名の議員が市政全般にわたり、質問を行いました。

紙面の都合上、質問者が要約したものを掲載しています。

なお、一般質問の様子は尾道市議会ホームページでご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。



市議会ホームページアドレス

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/www/assembly/index.jsp>

「本会議録画中継」からご覧になりたい会議名を選んでください。



新和会  
飯田 しいだ

照男 てるお

## 平成の合併、その後について

**問** 合併の大きな目的は財政の健全化でしたが、その達成度を伺います。

**答** 昨年8月の財政運営見通しでは平成24年度から28年度までの5年間で41億円の財源不足と推計しており、まだ道半ばと言わざるを得ない状況です。

## 農業問題について

**問** 農産物の販売力の強化・販路の拡大が求められています。耕作放棄地が増える中、安倍総理は向こう10年間で農業所得倍増を打ち出していますが、対応をお聞かせ下さい。

**答** 平成20年度に尾道市農業振興ビジョンを策定し活力と魅力ある農づくりの実現に向け「農を育てる」「むらをつくる」「食をまもる」の3つの施策を柱として推進しています。中でも「農を育てる」に関連する取り組みとして平成23年度から県、JA等と連携し、尾道市の地域プロジェクトを推進しています。

## 教育問題について

**問** 今年3月に閉校となった生口島3校の跡地活用について伺います。

**答** 旧東生口小学校については公民館建設事業の移転先として検討したいと考えています。旧南小學校、旧生口中学校につきましては、民間活用も含め検討していますが、現在のところ未定です。

**問** 旧南小学校、旧生口中学校と別々に検討するのではなく、生口島活性化対策実行委員会を立ち上げて視点を高く視野を広く検討する必要がありますと思われる。生口島は島ごと美術館として銘打っており観光資源、特産品も多くあります。これらを紹介するパンフレットを作り、全国の自治体、大学、大手企業、観光業者等に発送し、現地説明会等を検討してはいかがでしょうか。

**答** 生口島内の観光資源にして、いろいろな魅力ある資源がありますので、これは総合的に活用するべきだというご意見もごもっともだと思います。民間活力の活用ということも含めて検討していくべきものと考えています。これからも一生懸命取り組んでまいります。



新風クラブ  
に った  
新田 隆雄  
たかお

## 瀬戸内しまのわ2014について

### 問

「島の輪がつながる。人の輪でつながる」をキャッチコピーに尾道会場では、春には花とサイクリング、夏には海とクルージング、秋には食とアートをテーマとしてイベントが開催されます。このイベントを一過性のものとすることなく開催することが必要だと思えますが、どうですか。

### 答

瀬戸内しまのわ2014の開催により、これから地域と共に作り上げる魅力的な取り組みを継続的かつ効果的に展開することが重要と考えています。瀬戸内海は世界に誇れる観光資源を擁し高いポテンシャルを有しております。県域・市域を超えた広域的なイベントにより瀬戸内海を国内外でナショナルブランドとして知名度を高め、瀬戸内海ブランドの確立につなげていきたいと考えています。



## 青山興司前病院事業管理者について

### 問

この度の罷免は、尾道市民はもとより、青山先生をよく知る関係者に大きな疑問と衝撃を与えています。青山先生が出した条件をすべて飲むという尾道市の熱意に打たれ、故郷の方々のお役に立てるならと、引き受けてくださったのです。彼をよく知る医療関係者は、「なぜ青山先生が尾道市民病院へ行くのか」といぶかったそうですが、理由を聞いて納得したといえます。病院経営の経験も実績もない者が、改革を好まぬ輩の不満を聞き、直線的に判断したのでしょう。その道のプロに指図をすること自体せんえつなのに、「言う通りにしないなら罷免する」では、有為な人材確保は無理です。遠からず大変な損失を被ることを思い知ることになります。医療の面でも費用の面でも迷惑を被るのは、市民というのが目に見えています。三顧の礼を持ってお迎えした青山興司病院事業管理者を、就任後、わずか数カ月で罷免することは、決して許されるものではありません。罷免を撤回するのが人の道と考えますがどうですか。

### 答

罷免という処分を行わざるを得なくなったことは、誠に残念です。



市民連合  
やまと  
山戸 重治  
しげはる

## 橋やトンネルの老朽化対策について

### 問

県内で橋からコンクリート片が落下する事故が相次いだことを受けて、尾道市ではどのような対策を考えていますか。

### 答

本市では、橋17カ所とトンネル18カ所の緊急点検を5月中旬に完了し、修繕が必要な箇所は速やかに補修することとしています。橋梁やトンネルは市民生活にとっても重要な構造物であり、老朽化対策は国や県と連携を図りながら速やかに対策を講じてまいります。



## 外国人観光客の誘致について

### 問

尾道市を訪れた外国人観光客の実状はどのようになっていますか。また、5月に「友好交流意向書」を締結した大韓民国釜山広域市中部との交流や、台湾の自転車メーカーであるジャイアントストアが今年度尾道市に新店することを外国人観光客の誘致に結び付ける施策が必要と

### 答

思いますがどのようにお考えですか。本市を訪れた外国人観光客は平成24年は6万7000人で前年比約67%の増加です。

釜山広域市中部とは様々な分野で交流を進め、大韓民国における本市の認知度を高めたいと考えており、今年9月には釜山国際観光展に出席し、しまなみ海道の魅力を発信してまいります。

ジャイアントストアの出店では、すでに昨年来、台湾から多くのサイクリングツアーがしまなみ海道を訪問しています。世界各国のジャイアントストアを通じて尾道市のPRをさらに進めたいと考えています。

## 県道福山尾道線整備事業について

### 問

県道福山尾道線では、昨年2件の交通死亡事故が起きたため、地元では一日も早い新しい道路の完成を願っています。工事費や進捗状況、開通予定はどのようになっていますか。

### 答

主要地方道福山尾道線の平成24年度の工事執行額は1億5460万円で進捗率は40%、今年度の工事費は昨年度の繰越額と合わせて3億7900万円で、執行後の進捗率は69%になる予定です。開通の予定は平成20年代後半と県から聞いています。





誠友会  
柿本 和彦

### 尾道市独自による少人数学級の実現について

**問** 35人以下学級の効果をどのように認識していますか。また、尾道市独自に35人以下学級を導入した場合、学級数は何クラス増えますか。

**答** 「発言・発表の機会が増えることによる積極的な授業参加」や「教員と児童との関係の緊密化」「生徒指導上の課題に即した個別指導の充実」などの効果が期待され、平成25年5月1日現在の児童数で、11学級増えることとなります。きめ細かな指導をしていくことは大切であると捉えています。財政面での負担が大きいので、当面は予定していません。

### 民生児童委員協力員制度の導入について

**問** 今後、民生児童委員協力員制度を導入する考えはありますか。

**答** 地域の高齢化に加え、幼児虐待の防止、高齢者の安否確認など職務の多様化及び負担の増加によ

り、民生児童委員の候補者選定が難しくなっているとの声もあり、今後、民生児童委員協議会などのご意見をいただきながら、当該制度について研究してまいります。

### 安全・安心な住環境を脅かす廃屋対策について

**問** 現在、廃屋と思われる建造物は何件程度あり、どのような対応をしていますか。解決に至っていない原因、また、今後の対策をどのように考えますか。

**答** 廃屋を含んだ老朽家屋や苦情のある家屋についての相談は、平成14年度から平成24年度までに93件寄せられています。現地を確認して、所有者または相続人を調査し、文書を送付したり、電話や面談をしたり、適正管理の必要性を説明して、49件が改修または解体に至っていますが、所有者が高齢化して高額な改修や解体の費用が捻出できない、所有者・相続人が不明、相続や税金問題など、さまざまな要因により解決に至っていないものがあります。歴史的風致維持向上計画により、重点区域とした地区では建物除去の補助を実施していますが、行政処分、条例制定については、引き続き研究してまいります。



WFPおのみちの声  
前田 孝人

### 青山前尾道市病院事業管理者の罷免について

**問** 青山氏を病院事業管理者に任命した理由を伺います。

**答** 将来にわたり市民が安心して医療を受けることができる体制を確立するため、青山氏に就任していただきました。本市の出身で以前から夜間救急診療所の小児科医師派遣に支援をいただいております。岡山医療センター等での実績、さらに尾道の医療に貢献したいとの希望をお持ちでしたのでお願いしました。

**問** 青山氏の罷免の理由を伺います。

**答** 青山氏に対し、組織的に病院事業を運営していただくようたび重ねて手法の見直しをお願いしましたが、受け入れられず、このままでは事業運営に大きな支障をきたすと判断し、地方公営企業法の規定に基づき今回の措置をとりました。

**問** 招聘し任命した青山氏を一年余りで罷免した任命権者の責任をどう考えていますか。

**答** 罷免という処分を行わざるを得なくなったことは、不本意であり、誠に残念に思っています。市民への不安や医療関係者への混乱を招き、誠に申し訳なく思っており、二度とこのような事が生じないよう心がけるとともに、今後とも安定した病院事業の運営を行い、市民に対して必要な医療等の提供を安定して行うことが責任と考えています。

### 尾道の漁業について

**問** 漁業協同組合の合併の取り組みは進んでいますか。

**答** 県・県漁連が中心となり、合併推進に取り組まれています。

**問** 本市では浦島漁協が松永漁協と合併協議を開始され、大筋については合意し、臨時総会で同意を得た後、来年4月合併を目指しておられます。地魚直販所を吉和漁港の隣接地に開設してはどうですか。

**答** 元市営正徳浜住宅跡地を含め、た吉和漁港施設用地の利活用については、県の承諾が得られれば、吉和地区の活性化のため、漁協、地元経済団体と連携し利活用を進めてまいります。





日本共産党  
うおたに  
魚谷 悟  
さとしる

## 青山前病院管理者罷免問題 について

**問** 青山氏が罷免されたことにより、患者・市民の間で医療に対する不安が起きています。裁判が進めば、不安が増すだけでなく、医師も来なくなりそうです。青山氏も市長も「尾道の医療を守る」と主張しており、その一方で関係者が協議すべきで、そのためには罷免の撤回が必要だと思いますがどうですか。

**答** 現状を混乱におとしいるような罷免撤回は考えていません。

## 市民の負担軽減策について

**問** 市民のくらしは、収入や年金が減る中、厳しくなっているとの認識はありますか。国民健康保険料は、12億6000万円もある「地域福祉基金」を「保健、福祉施策等を推進する経費の財源」という目的に沿って活用し、1人1万円引き下げてはいかがですか。介護保険の利用料軽減のため、過去実施したことのある、在宅サービスの無料利用

券を給付する制度を実施してはどうか。  
**答** 市民のくらしは、厳しくなっているとの認識はしています。国保料は、国保の制度の中で検討すべきものと考えています。介護保険被保険者の負担軽減については、国の責任において対策を講じるよう国に要望しています。

券を給付する制度を実施してはどうか。  
**答** 市民のくらしは、厳しくなっているとの認識はしています。国保料は、国保の制度の中で検討すべきものと考えています。介護保険被保険者の負担軽減については、国の責任において対策を講じるよう国に要望しています。

**問** 「子育てするなら尾道よ」にふさわしく、近隣の市より遅れている学童保育の実施校を増やし、対象を6年生まで拡大してはいかがですか。また、中学校給食を早期に実施する必要があるのではないのでしょうか。

**答** 学童保育の実施校や対象年齢については、「子ども子育て会議」において、保護者の声を聞いて取り組めます。中学校給食については、様々な提供方法を研究し、一部モデル校への導入も考えています。

## 子育て支援の充実について

**問** 「子育てするなら尾道よ」にふさわしく、近隣の市より遅れている学童保育の実施校を増やし、対象を6年生まで拡大してはいかがですか。また、中学校給食を早期に実施する必要があるのではないのでしょうか。

**答** 学童保育の実施校や対象年齢については、「子ども子育て会議」において、保護者の声を聞いて取り組めます。中学校給食については、様々な提供方法を研究し、一部モデル校への導入も考えています。

学童保育・中学校給食の実施状況

実施率 自治体	学童保育	中学校給食
尾道市	72.4%	18.4%
福山市	96.2%	7.9%
三原市	81.8%	100%
府中市	100%	100%



公明党  
かのう  
加納 康平  
こうへい

## 風疹予防ワクチン接種促進対策について

**問** 風疹が都市圏を中心に流行し、過去最悪の昨年比2倍の勢いです。中国地方も同様で、夏場に向けての感染が懸念されていますが、本市の現状はどうですか。

**答** 5月29日現在の全国の感染報告数は、8507人で、広島県では54人。そのうち尾道市内の医療機関で診断された人は8人。なかでも、20〜40代の男性感染者が多く、8割以上を占めています。これは、予防接種の機会が全くないか、1回しか受けていない年代の感染者で、配偶者への影響が危惧されます。

**問** 簡易な免疫検査もあると聞いていますが、定期接種を受けていない年代などへの告知や助成措置について、学校、医療機関との連携はどうですか。

**答** 医療機関では妊婦を優先に抗体検査を行い、抗体がない妊婦には、人ごみや子どもの多い場所を避け、同居家族へのワクチン接

種を勧めています。市民課の窓口で、婚姻届提出の方を対象にリーフレットを配布、また、定期予防接種対象者については、個人通知での勧奨をし、学校にも協力いただいたところがあります。

## 認知症対策について

**問** 本市の認知症患者数、認知症サポーター養成事業の内容及び支援体制について伺います。

**答** 患者数の把握は困難ですが、介護認定を受けている約9900人のうち、約5860人の方に何らかの支援を要する認知力の低下がみられます。また、サポーター養成事業については、昨年度末までに、小・中学生を含む9812人が認知症について正しく理解され、認知症の方やその家族を地域ぐるみで見守る支援をしていただいております。また、主治医とケアマネージャーを中心とした多職種の方々にも連携を深めていただいております。本市

として、認知症の方への適切な医療・介護・福祉のサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

として、認知症の方への適切な医療・介護・福祉のサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

として、認知症の方への適切な医療・介護・福祉のサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

